

衛生学研究会 (2008. 4-7)

開催日： 隔週木曜日 18:30～

場 所： 名古屋市立大学 医学研究科 労働生活・環境保健学分野 カンファレンスルーム
(医学部研究棟 10階)

■ 5月8日 (木)

「医療安全文化構成要因の信頼性と妥当性の検討」

○ 榎原 毅 (名古屋市立大学・院・医 労働生活・環境保健)

■ 5月22日 (木)

「病院看護師における職務満足感に及ぼす要因に関する横断研究」

○ 丹羽さゆり 先生 (中部大学・生命健康科学部・保健看護学科)

■ 6月12日 (木)

「C型肝炎ウイルスの家族間感染に関する研究 ―夫婦間および親子間において―」

○ 戸田崇之 院生 (名古屋市立大学・院・医 労働生活・環境保健)

■ 6月19日 (木)

「加速度脈波による自律神経機能評価」

○ 高田 幹夫 院生 (名古屋市立大学・院・医 労働生活・環境保健)

■ 7月10日 (木) 夜を予定

同門会

*詳細は、追ってご案内いたします。

■ 7月24日 (木)

「適正な形で患者に薬剤情報が渡るために ―処方箋調剤時の時間配分実態調査―」

○ 成瀬春美 先生 (名市大・院・医 労働生活・環境保健学 研究員)

衛生学研究会 (2008.1-3)

開催日： 木曜日 18:30～ ※ 開催日は隔週ではなく多少不規則です。ご注意ください。

場 所： 名古屋市立大学 医学研究科 労働生活・環境保健学分野 カンファレンスルーム

■1月17日(木)

「交差点出会い頭事故の人間工学的対策—市街地交差点の視環境特性評価と改善—」

○ 森みどり 先生(神奈川大学・工学部)

出会い頭事故の発生頻度(24.6 万年/年、26.4%)は追突に次ぐ2位で、市街地無信号交差点での事故が半数以上を占める。演者らの研究によれば、出会い頭事故の原因は劣悪な視環境要因にある。交差点視環境特性を、直接視界およびカーブミラーによる間接視界の視点で定量評価し、出会い頭事故の危険性と予防安全対策を検討した。

■2月7日(木)

「適正な形で患者に薬剤が渡るために」

○成瀬春美 先生(名市大・院・医 労働生活・環境保健学 研究員)

厚生労働省の定めた100錠・カプセル・100gの標準小包装単位と分割販売による小包装品確保の対応の妥当性を検証する。

■2月21日(木)

基礎配属学生発表：①医学生の診療科選択における考え方とその推移に関する調査

②復職者と学生の睡眠の質について

○成田圭・内田祐子さん(名古屋市立大学・医学部3年)

- ①現役の医学生にアンケートを行い、医学生がどのような意識をもちどのような理由で診療科を選択するのかを調査し、その結果について考察する。
- ②復職者と学生を対象にアクティウオッチを装着してもらい、ベッドに入っている間の体の動きをモニターすることで、実際の睡眠時間や睡眠の質について客観的な評価をし、復職者と学生の間になどどのような違いがみられるかを調査した。

■3月6日(木)

「作業関連筋骨格系障害 —給食調理作業現場での経験を交えて—」

○太田充彦 先生(藤田保健衛生大学・医学部・公衆衛生学)

産業医として給食調理作業現場に携わった経験を交えて、作業関連筋骨格系障害の近年の動向、労災認定の経験談、職業性ストレスとの関連について紹介します。

■3月13日(木)

「ポータブル近赤外分光器を用いた冷凍サトイモの水晶症状の検出」

○岩西恩 先生(名古屋栄養専門学校)

サトイモの水晶症状は、イモの一部が水浸状に透明化する現象であり、当該部位は加熱調理後も柔らかくならず食用に適さない。冷凍サトイモは、水晶症状の部位を含んでいても外観では判別できずに市場へ出荷され、そのまま消費者へ提供される場合も多い。結果として、食感が悪いなどクレームの原因となるが、販売者側はやむを得ないとしているのが現状である。そこで、本研究ではポータブル近赤外分光器を用い、非破壊で迅速な検査法である近赤外法の利点を利用して水晶症状の冷凍サトイモを検出し、調理前に選別する方法を検討した。

■3月27日(木)

「病院看護師における仕事と健康・疲労の現状について」

○丹羽さゆり 先生(中部大学・生命健康科学部・保健看護学科)

病院看護師の仕事と健康・疲労の現状を調査し、仕事と健康状態や生活上の問題の関連について報告する。

衛生学研究会

- ・場所 名古屋市立大学大学院医学研究科労働・生活・環境保健学（医学部衛生学）
セミナー室（医学部研究棟10階）
- ・日時 毎週木曜日 午後6時30分より

回 (通算)	月 日	話題提供者 所属	テ ー マ
424	9月28日	佐藤智明 院生 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学 高西敏正 助教授 北九州市大	タイにおける産業保健活動視察報告
425	10月5日	第26回労働と健康研究会 小西美智子 教授 日赤豊田看護大	自己効力感を高める保健指導の方法
426	10月12日	市原 学 助教授 名大 院 医 環境労働衛生学	国立大学法人における労働衛生
427	10月19日	高田幹夫 院生 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学	生活習慣病の危険因子としての就業条件
428	10月26日	大橋裕子 講師 中部大 生命健康科学	パナマ先住民の現状と保健活動の体験
429	11月2日	指原俊介 所長 JR東海健康管理センター	JR東海の産業医活動～この7年間の経験から～
430	11月9日	佐藤智明 院生 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学	暑熱環境下における柱上作業の現状
431	11月16日	辻とみ子 助教授 名古屋文理大 健康生活学	学童期における栄養教育に関する文献的考察
432	11月30日	城 憲秀 教授 中部大 生命健康科学	私立幼稚園教諭の労働負担に関する研究 ～質問紙調査の結果から～
433	12月7日	榎原 毅 助手 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学	立位・座位選択可能型VDT作業方式の有用性に関する研究
	12月14日	忘年会	

研究会日程の急な変更もありますので、とくに遠方よりお越しの場合などには変更の有無を下記までお問い合わせ下さい。

連絡先：名古屋市立大学大学院医学研究科労働・生活・環境保健学（医学部衛生学）
TEL:052(853)8171 FAX:052(859)1228
e-mail:eisei@med.nagoya-cu.ac.jp

※10月5日の労働と健康研究会は医学部研究棟講義室Bで行います。

衛生学研究会

- ・場所 名古屋市立大学大学院医学研究科労働・生活・環境保健学（医学部衛生学）
セミナー室（医学部研究棟10階）
- ・日時 毎週木曜日 午後6時30分より

回 (通算)	月 日	話題提供者 所属	テーマ
414	4月27日	久保智英 院生 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学	夜間覚醒時に取得する仮眠の質が早朝時刻帯の 作業パフォーマンスに与える影響
	5月11日	第79回日本産業衛生学会のため休会	
415	5月18日	田淵タカ子 主幹 名市大病院 医療安全管理室	名古屋市立大学病院における医療事故防止活動 -ジェネラルリスクマネージャーの本音-
	5月25日	第17回日韓中産業保健学術集談会 のため休会	
416	6月1日	佐藤智明 院生 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学	ライフコーダによるエネルギー消費量推定の 妥当性に関する文献的考察
417	6月 8日	飯田忠行 先生 藤田保衛大 医 公衆衛生	身体障害者用コンピューターシステムの開発
418	6月15日	榎原 毅 助手 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学	第17回日韓中産業保健集談会報告
419	6月22日	高西敏正 助教授 北九州市大 文	ゴミ収集作業の労働負担に関するフィールド調査 -労働状況と腰部・下肢への負担について-
420	6月29日	第25回労働と健康研究会 神代雅晴 教授 産業医大 産業生態科学研 人間工学	職場における人間工学の応用
421	7月 6日	高崎正子 先生 東芝ヒューマンセットサービス四日市工場	東芝における産業看護活動の現状と課題
422	7月13日	村田健三郎 教授 龍谷大 文	ゴミ収集作業の身体負担に関する実験的研究 -投入動作の違いが身体負担に与える影響-

研究会日程の急な変更もありますので、とくに遠方よりお越しの場合などには変更の有無を
下記までお問い合わせ下さい。

連絡先：名古屋市立大学大学院医学研究科労働・生活・環境保健学（医学部衛生学）
TEL:052(853)8171 FAX:052(859)1228
e-mail:eisei@med.nagoya-cu.ac.jp

※6月29日の労働と健康研究会は医学部研究棟講義室Bで行います。

衛生学研究会

- ・場所 名古屋市立大学大学院医学研究科労働・生活・環境保健学（医学部衛生学）
セミナー室（医学部研究棟10階）
- ・日時 毎週木曜日 午後6時30分より

回 (通算)	月 日	話題提供者 所属	テーマ
406	1月26日	佐藤 光 事務局長 アジア保健研修所	保健から開発へ －フィリピンにおける現地NGOの役割の変化と私たち－
407	2月2日	榎原 毅 助手 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学	リスクマネージャーからみた医療安全活動業務 に対する評価
408	2月9日	淵上 哲 施設長 特定・特別医療法人 博愛会 介護老人保健施設 あいかわ	認知症の予防と脳リハビリ
409	2月16日	辻 とみ子 講師 名古屋文理大学 健康生活	生理習慣と栄養素等摂取量との関連 －栄養関連学科女子新入生における検討－
410	2月23日	上垣史緒理、小川紫野 名市大 医 3年生 為近真也、長縄博和 福定繁紀、横井雅史 名市大 医 3年生	1) 幼稚園教諭の労働負担に関する調査研究 2) ゴミ投入作業時の労働負担に関する実験的研究
411	3月2日	第24回労働と健康研究会 城内 博 教授 日本大学 理工	化学物質管理におけるGHS（化学品の分類および 表示に関する世界調和システム）の役割
412	3月9日	鈴木 初子 教授 愛知医科大学 看護	看護師のバーンアウトに関与する職業関連要因について
413	3月16日	久永 直見 教授 愛知教育大学 保健管理	アジア共同体時代にむけた産業保健国際協力

研究会日程の急な変更もありますので、とくに遠方よりお越しの場合などには変更の有無を
下記までお問い合わせ下さい。

連絡先：名古屋市立大学大学院医学研究科労働・生活・環境保健学（医学部衛生学）
TEL:052(853)8171 FAX:052(859)1228
e-mail:eisei@med.nagoya-cu.ac.jp

※3月2日の労働と健康研究会は医学部研究棟講義室Bで行います。

衛生学研究会

- ・場所 名古屋市立大学大学院医学研究科労働・生活・環境保健学（医学部衛生学）
セミナー室（医学部研究棟10階）
- ・日時 毎週木曜日 午後6時30分より

回 (通算)	月 日	話題提供者 所属	テーマ
393	9月15日	高西敏正 助教授 北九州市大 文	座位作業における上肢の動きからの エネルギー消費量の推定
394	9月22日	武山英麿 講師 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学	第16回中韓日産業保健学術集談会報告
395	9月29日	市川誠一 教授 名市大 院 看 感染予防看護学	日本のHIV/AIDSの現況 -予防対策は成功してきたか？
396	10月6日	上田 厚 教授 熊本大 院 医薬 環境保健学	産業保健からみたラテックスアレルギー
397	10月13日	村田健三郎 教授 龍谷大 文	投入作業時の身体的負担に関する実験
398	10月20日	畠山卓朗 教授 星城大 リハビリテーション	支援技術開発と利用者ニーズ -障がいのある人の支援を中心に-
399	10月27日	第23回労働と健康研究会 井上枝一郎 教授 関東学院大 人間環境・労働科学研究所	ヒューマンファクターと安全文化
400	11月10日	種田行男 教授 中京大 生命システム工学	高齢者の介護予防のための研究と実践
401	11月17日	久保智英 院生 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学	タイにおける産業保健活動視察報告
402	11月24日	鶴見邦夫 副部長 名市大病院 歯科口腔外科	ストレスによる顎関節症発症
403	12月1日	久永直見 教授 愛知教育大 保健管理	アジア共同体時代にむけた産業保健国際協力
404	12月8日	城 助教授・武山 講師 榎原 助手・久保 院生 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学	4連続夜勤の生体負担評価
405	12月15日	忘年会	

研究会日程の急な変更もありますので、とくに遠方よりお越しの場合などには変更の有無を下記までお問い合わせ下さい。

連絡先：名古屋市立大学大学院医学研究科労働・生活・環境保健学（医学部衛生学）
TEL:052(853)8171 FAX:052(859)1228
e-mail:eisei@med.nagoya-cu.ac.jp

※10月27日の労働と健康研究会は医学部研究棟講義室Bで行います。

衛生学研究会

- ・場所 名古屋市立大学大学院医学研究科労働・生活・環境保健学（医学部衛生学）
セミナー室（医学部研究棟10階）
- ・日時 毎週木曜日 午後6時30分より

回 (通算)	月 日	話題提供者 所属	テーマ
382	4月28日	渡邊 克彦 主幹 名古屋市環境局事業部	名古屋のごみ事情
383	5月12日	沢崎 健太 先生 鈴鹿医療科学大 鍼灸	企業内労働者における相補代替医療 の利用状況について
384	5月19日	津下 一代 先生 あいち健康の森 健康科学総合センター	糖尿病予防活動の実際と生活習慣介入研究
385	5月26日	久保智英 院生 武山英磨 講師 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学	効果的な仮眠取得法に関する研究 1時間仮眠の取得時刻の違いによる効果について
386	6月 2日	日韓中産業保健懇談会のため休会	
387	6月 9日	堀内 久美子 先生 名古屋学芸大 ヒューマンケア	子ども虐待の現状と防止への課題
388	6月16日	井上 辰樹 助教授 龍谷大 社会	生活習慣病予防のための健康教室の試み
389	6月23日	梅津 美香 先生 岐阜県看護大 看護	医療機関における復職支援
390	6月30日	辻 とみ子 講師 名古屋文理大 健康生活	高学年児童の食生活調査（中間報告）
391	7月 7日	巽 あさみ 先生 浜松医大 看護	上方移動介助における介助補助具使用の効果 ～自覚的作業強度および表面筋電の検討～
392	7月14日	第22回労働と健康研究会 築瀬 正伸 先生 安城更生病院 循環器センター	心臓リハビリテーション ～職場復帰に向けた対応～

研究会日程の急な変更もありますので、とくに遠方よりお越しの場合などには変更の有無を下記までお問い合わせ下さい。

連絡先：名古屋市立大学大学院医学研究科労働・生活・環境保健学（医学部衛生学）
TEL:052(853)8171 FAX:052(859)1228
e-mail:eisei@med.nagoya-cu.ac.jp

※7月14日の労働と健康研究会は医学部研究棟講義室Aで行います。

衛生学研究会

- ・場所 名古屋市立大学大学院医学研究科労働・生活・環境保健学（医学部衛生学）
セミナー室（医学部研究棟10階）
- ・日時 毎週木曜日 午後6時30分より

回 (通算)	月 日	話題提供者 所属	テーマ
374	1月27日	城 憲秀 助教授、武山英麿 講師 榎原 毅 院生、久保智英 院生 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学	ゴミ収集作業者の労働負担調査報告（2）
375	2月 3日	村田健三郎 教授 龍谷大 文	ゴミ収集模擬作業における労働負担評価
376	2月10日	第21回労働と健康研究会 城 憲秀 助教授 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学 Tanavadee Khuvasanont 先生 National Institute for the Improvement of Working Conditions and Environment Ministry of Labour, Bangkok	産業保健分野の海外協力を考える 1) 事例からみる産業保健海外協力の方向性 2) タイにおける産業保健海外協力活動
377	2月17日	榎原 毅 院生 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学	医療事故防止のためのリスクマネジメントシステムのあり方
378	2月24日	城 憲秀 助教授 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学	幼稚園教諭の労働負担調査
379	3月 3日	1) 西村聖一、杉野貴彦 2) 澤木康一、下方茂毅 名市大 医 3年生（衛生学基礎配属）	1) 医療安全管理システムの現状と課題 2) 職場の喫煙対策
380	3月10日	坪井 信二 先生 愛知学院大 歯 口腔衛生学	歯周病と喫煙習慣
381	3月17日	沢崎 健太 先生 鈴鹿医療科学大学 鍼	企業内労働者における相補代替医療の 利用状況について

研究会日程の急な変更もありますので、とくに遠方よりお越しの場合などには変更の有無を
下記までお問い合わせ下さい。

連絡先：名古屋市立大学大学院医学研究科労働・生活・環境保健学（医学部衛生学）
TEL:052(853)8171 FAX:052(859)1228
e-mail:eisei@med.nagoya-cu.ac.jp

※2月10日の第21回労働と健康研究会は医学部研究棟11階 講義室Bで行います。

衛生学研究会

- ・場所 名古屋市立大学大学院医学研究科労働・生活・環境保健学（医学部衛生学）
セミナー室（医学部研究棟10階）
- ・日時 毎週木曜日 午後6時30分より

回 (通算)	月 日	話題提供者 所属	テーマ
363	9月16日	城 助教授、武山 講師 榎原 院生、久保 院生 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学	ゴミ収集作業者の労働負担調査報告
364	9月30日	加藤 治 主席コーディネーター 日本臓器移植ネットワーク中日本支部	中部地方の移植医療の現状
365	10月 7日	城 憲秀 助教授 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学	フィリピンにおけるPOSITIVE活動の成果
366	10月14日	第20回労働と健康研究会 那須 民江 教授 名大 院 医 環境労働衛生学	古くて新しい有機溶剤中毒 -有機溶剤職場に潜む問題点-
367	10月21日	高西 敏正 助教授 北九州市立大 文	表面筋電図法および三軸加速度計を用いた 身体活動量の評価について
368	10月28日	村崎 元五 先生 日本郵政公社西日本主任総括産業医	わが社における安全衛生施策の現状と問題点
369	11月 4日	上田 厚 教授 熊本大 院 医薬 環境保健医学	農的くらしと健康社会
370	11月18日	氏平 高敏 部長 名古屋市衛生研究所疫学情報部	名古屋市における麻疹の予防接種の状況について
371	11月25日	井上 辰樹 助教授 龍谷大 社	生活習慣改善活動の習慣化を目的とした 生活習慣モデル事業の試み
372	12月 2日	久保 智英 院生 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学	よりよく疲れてよりよく眠るために ～第18回アメリカ睡眠学会に参加して～
373	12月 9日	榎原 毅 院生 名市大 院 医 労働・生活・環境保健学	ISO20646を用いたWMSDs予防活動の フォローアップ活動報告
	12月16日	忘年会	

研究会日程の急な変更もありますので、とくに遠方よりお越しの場合などには変更の有無を
下記までお問い合わせ下さい。

連絡先：名古屋市立大学大学院医学研究科労働・生活・環境保健学（医学部衛生学）
TEL:052(853)8171 FAX:052(859)1228
e-mail:eisei@med.nagoya-cu.ac.jp

※10月14日の第20回労働と健康研究会は医学部研究棟講義室Bで行います。

衛生学研究会予定

- ・場所 名古屋市立大学大学院医学研究科労働・生活・環境保健学（医学部衛生学）
セミナー室（医学部研究棟10階）
- ・日時 毎週木曜日 午後6時30分より

回 (通算)	月 日	話題提供者 所属	テーマ
353	5月13日	鶴見 邦夫 副部長 名市大病院歯科・口腔外科	ストレス負荷と顎関節症（解析経過報告）
354	5月20日	高柳 泰世 先生 本郷眼科	色覚異常者の就労と人権
355	5月27日	酒井 潔 先生 名古屋市衛生研究所	揮発性有機化合物による室内空気汚染について
356	6月 3日	及川 理 先生 名市大大学院 臨床病態内科学	移植腎慢性拒絶反応の組織学的解析
357	6月10日	第19回労働と健康研究会 佐藤 洋 教授 東北大学大学院環境保健医学	産業化学物質による環境汚染とその生体影響： 神経行動学的な影響を持つ物質を中心に
358	6月17日	早川 富博 院長 愛知県厚生連 足助病院	中山間部における医療の問題 ITを使った在宅医療支援システムの使用経験
359	6月24日	高西 敏正 助教授 北九州市立大学文学部	表面筋電図法および三軸加速度計を用いた 身体活動量の評価について
360	7月 1日	村田 健三郎 教授 龍谷大学文学部	中高年者用運動負荷テスト開発の試み
361	7月 8日	鈴村 初子 助教授 愛知医科大学看護学部	バーンアウトの構造に関する研究
362	7月15日	久保 智英 院生 武山 英麿 講師 名市大大学院 労働・生活・環境保健学	効果的な仮眠取得法に関する研究 一仮眠取得時間と時刻がパフォーマンス、疲労感および 生理的指標に及ぼす影響一

研究会日程の急な変更もありますので、とくに遠方よりお越しの場合などには変更の有無を
下記までお問い合わせ下さい。

連絡先：名古屋市立大学大学院医学研究科労働・生活・環境保健学（医学部衛生学）
TEL:052(853)8171 FAX:052(859)1228
e-mail:eisei@med.nagoya-cu.ac.jp

※6月10日の労働と健康研究会は医学部研究棟講義室Aで行います。